



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

917 2025年1月26日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
2月3日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

学校の 建替え

小中学校建て替え計画の検討状況 (中間報告) 将来30人以下学級編成も視野に入れた整備を!

建替え計画	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043
代替校舎①																		
1校目																		
2校目																		
3校目																		
4校目																		
5校目																		
6校目																		

昨年12月に、学校建替え計画の検討状況が報告されました。そこで学校建替えの必要性として、
区的基本的考え方
学校施設の半数以上が築50年以上、施設が老朽化。「荒川区教育施設長寿命化計画」で修繕に加え、計画的に大規模改修工事を実施することで、耐用年数を80年としたが、財政的負担もあり計画的建替えが必要
35人学級制の導入で必要普通教室数が増えているとともに、一部地域の大規模再開発やマンション建設等で児童生徒数の大幅な増加

が見込まれる...などとしています。
子ども最善の利益を最優先した取り組みを同時に、代替校舎の確保、居ながら建替えの教育への影響、代替校舎が徒歩圏外の場合の移動手段の確保、適正配置(統廃合)・小中一貫校、複合施設化など新たな対応の検討を始めています。
「財政効率」で見ても、あくまでも子ども立場に立つた対応が必要です。計画の途中で35人学級どころか30人以下

※基本=基本設計 実施=実施設計

24校目まで順次建替え...2055年度完了をめざして実施

《町屋周辺の小中学校 児童生徒数とクラス数》

町屋・尾久・荒川地域関連の小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
二峡	48【2】	57【2】	48【2】	62【2】	56【2】	42【2】	313【2】
三峡	33【1】	18【1】	20【1】	23【1】	33【1】	17【1】	144【6】
四峡	66【2】	63【2】	72【2】	65【2】	63【2】	50【2】	379【3】
五峡	63【2】	73【2】	80【2】	71【2】	64【2】	75【2】	426【5】
七峡	41【2】	35【1】	51【2】	51【2】	59【2】	49【2】	286【1】
九峡	41【2】	35【1】	36【2】	35【1】	32【1】	28【1】	207【8】
大門	54【2】	46【2】	70【2】	45【2】	66【2】	39【1】	320【11】
尾久	88【3】	74【3】	69【2】	61【2】	69【2】	62【2】	423【4】
赤土	91【3】	89【3】	92【3】	109【3】	85【3】	84【3】	550【9】

町屋地域周辺の中学校

	1年	2年	3年	合計
四中	99【2】	98【2】	82【2】	279【2】
五中	72【2】	80【2】	85【2】	237【2】
九中	54【2】	58【2】	45【2】	157【6】
原中	103【2】	93【2】	83【2】	279【2】
尾久八幡	158【5】	132【2】	134【2】	424【13】

町屋地域周辺校の場合...

2峡小が全区で一番古い校舎です。周辺地域を見ると赤土小、9中、四峡小、大門小の順になります。

※【 】内はクラス数 小中とも2024年5月時点の数字

なぜ餓死したか?どうも付近

原因か?解剖すると「餓死」の可能性が高いとのこと。まず「安心」では何が原因か?解剖すると「餓死」の可能性が高いとのこと。



閉鎖されていた東日暮里1丁目公園

で給餌していた方が突然いなくなつたそうです。ハトは給餌をしないと、それだけを頼り途絶えると3日もすると死んでしまつてます。餌やりはハトにとっても迷惑な行為なのでしよう。

横山幸次

ハトの不審な大量死で閉鎖されていた東日暮里1丁目公園の利用が再開されました

まづの話をあれこれ

町屋さくら復活・移動の自由保障を考える... (47) 区がデマンド交通実証運行結果をやっと報告

前号でお知らせした町屋さくら復活等の陳情審査の際、区は参考資料として一昨年7月から昨年年3月まで実施した「デマンド交通」の結果を報告。日本共産党の相馬委員が「900万円使った実証運行の結果報告をすべき」と求めてきたことに、やっと応えたものです。

その中身を見ると、登録者135人の年代や予約方法、利用時間帯などはすぐにも出るものばかりです。唯一独自に調査したのは、運行後に利用者中20人から聞き取った内容だけ。それだけのことにここまで時間がかかるのでしょうか? 区の実証運行に姿勢が表れているように感じました。それでも自由意見の中では、「予約が煩雑」「大きい車であれば」「バスがあるのが一番良い」「スーパーや病院に直接行ってほしい」などの声がたくさん寄せられています。今後区としてこうした声はどう応えるかが、問われています。





東日暮里幼稚園が2025年3月閉園 2026年4月に特別支援学級を開設

特別支援学級在籍児童数(4月1日現在 25・26年度は想定)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
三日小					16名
峡田小	35名(10)	33(9)	34(11)	39(13)	33名
六瑞小	31名(3)	26(2)	30(3)	30(4)	24名
汐入小	22名	17名	18名	20名	18名
尾久西小	19名	22名	21名	19名	22名
大門小	16名	17名	15名	20名	21名

()人数は日暮里地域在住で通学している児童数

《これまでの学校統廃合…》

統廃合	現在
六中・尾竹中	原中
南千住中・二中	南二中
八中・十中・日暮里中・道灌山中	諏訪中

統廃合	現在
五日小・二日小	二日小
四日小・真土小	ひぐらし小
一峡小・八峡小	峡田小
四瑞小・五瑞小	汐入小
小台橋小・尾久西小	尾久西小

級が設置されていなかったために、峡田小や六瑞小まで通学せざるを得ない状況が続いており、特別支援学級の設置は長年の要望で必要なことで

改修工事	56,858千円
物品購入	4,742千円
合計	56,858千円

結果、東日暮里幼稚園は今年3月、5才児の卒園で閉園となります。日暮里地域に特別支援学級が設置されて

荒川区は瑞光、峡田、尾久、日暮里の4地域に公立幼稚園は1園として、町屋・尾久・東日暮里・南千住第三・汐入こども園幼稚園部の3歳児の新人園児募集が7人以下の場合には学級編制を行わず、募集を停止してきました。

幼稚園の閉園を引換の設置とは…どうでしょう。幼稚園の閉園に伴って改修工事を行い、その場所に学童クラブとにこにこすくーるを移転。学童とにこにこすくーるのあった場所に特別支援学級を設置し、2026年4月から児童の受入れを行います。中学校も日暮里には支援学級なし。小学校同様、中学校の支援学級が日暮里地域にはありません。そのため8名は一中(ジョイフル三ノ輪そら)、四中(荒川6丁目)に通っています。しかし日暮里地域には、過去の統廃合で区立中学校は諏訪台中

つどい対象者の28.9%が外国籍の方で634人です。全年令では、222,278人うち外国籍は23,539人・10.6%(2025年1月1日)で中国、韓国、ベトナム、ネパール、ミャンマーなどです。23区中で新宿・豊島に次いで3位の外国人率です。



1月13日、サンパール荒川で出身中学校毎に午前・午後で行われました。今年のテーマはそれぞれの輝き(個性)を将来に向かつてさらに大きく輝かせてと、大輝絆星(たいきばんせい)・2004年4月4日・2005年4月1日生まれの方で対象者は2,190人。参加者は午前421人・午後610人の1,031人と約半分の参加です。2022年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、荒川

荒川区20歳…参加は対象者の半分。区も「成人のつどい」ではなく「20才のつどい」として実施。18才で開催した自治体も、高校を卒業して間もなくで仲間と会うことに特別感がない「就職、進学したばかりの時期で心に余裕がない」などの当事者の声で20才に戻しているようです。参加しない・できなかった方の理由は何だったのでしょうか。20歳のつどい参加対象の3割近くが外国籍の用です(上囲み)。つどいの在り方も今日的に再考が必要ではないでしょうか。

一校しかありません。生徒増と35人学級編成で増築校舎。西日暮里駅前などで児童生徒が増が予想され、またクラス上限40人から35人学級編成で教室不足となり、峡田小・ひぐらし小では校舎の増設を行っています。今後さらに30人学級編成になっていくでしょう。大規模再開発、学校統廃合が、子どもの教育環境にどういった影響を与えるか、検証が必要です。経済効率第一主義から脱却し、子どもから高齢者まで住み続けることが出来るまちづくり

マイナ保険証利用登録解除… 昨年12月で3万件超え前月比2.4倍

マイナ保険証の利用登録解除約2カ月で4万5214人が解除申請をしたことが分かりました。厚生省保険局によると、10月28日から11月30日までの解除申請件数が1万3147件、12月1日から12月31日までが3万2067件でした。保険局担当者は、理由等について精査中と回答しています。11月までの解除申請について、「マイナ保険証への不安」、「資格確認書が欲しい」などで高齢者だけでなく、40代、50代も多いと説明しているようです。やはり保険証の廃止は撤回しもとに戻すべきです。

**マイナ保険証
解除件数
累計45,214件**
2024年10月28日~12月31日分

住民税非課税世帯に対する 価格高騰重点支援給付金支給の予定

口座情報が分かっている24,000世帯には1月16日にお知らせが発送され、2月中旬には振込まれます。口座情報を確認しなければならない16,000世帯には1月28日にお知らせ発送、確認書が区役所に届いてから1カ月半の間に振込まれます。

住民税均等割のみ世帯については現在準備中です。相談窓口
荒川区がん予防・健康づくりセンター4階
(荒川区荒川 2-11-1)
電話 03-3802-3111 内線 3902~3904/平日 8:30~17:15
コールセンター・電話 0120-984-054/平日 8:30~17:15

